

事業運営に関する自己評価

評価実施日: 2019年2月10日

事業所名:

プレイン 十三センター

サービス形態: 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			<input type="radio"/>	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		
		21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	
		23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		<input type="radio"/>	
		24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>	
		25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		
		26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		
27		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			<input type="radio"/>	
28		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		

事業運営に関する利用者様の評価

回答期間:

2019年2月10日～20日

事業所名:

ブレイン 十三センター

サービス形態:

放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善策について
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%	0.0%	0.0%	指導訓練室は法令を遵守したスペースを確保しています、限られたスペースではありますが快適に過ごしていただけるよう、工夫してまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	入社後の初任者研修を始め、すべての指導員に対し、継続的な研修体制を整えております。指導員が日々スキルアップできるよう、引き続き取り組んでまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	33.3%	66.7%	0.0%	すべての特性に対するバリアフリー化はできておりませんが、利用者特性に配慮した対応を心がけてまいります。
適切な 支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	66.7%	0.0%	33.3%	必要に応じてアセスメントをとり、担当者によるケース会議を経て個別支援計画を作成しています。お子様・親御様とともにより状況やニーズに合った支援計画作成に努めたいと考えております。
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	66.7%	0.0%	33.3%	能力向上のために必要なプログラムを行っております。プログラムは多岐に渡りますが、場合によっては続けざるを得ない場合もございます。お子様の興味関心も考慮し工夫を重ねてまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0.0%	100.0%	0.0%	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしていません。
保護者 への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に関連書類のご説明を行っておりますが、ご不明と感じる点などございましたら、お申し付けください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	毎回の支援後に親御様へのフィードバックを行って、保護者様との状況確認や共通理解を図るよう努めております。それ以外の時間でも、気になることがある場合はスタッフまでお声掛けください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	66.7%	0.0%	33.3%	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0.0%	100.0%	0.0%	保護者会等の開催は行っていません。ご要望が多いようでしたら検討をさせていただきますと存じます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0.0%	0.0%	100.0%	ご意見ご要望をいただいた際には保護者様と面談お時間を作らせて頂き、保護者皆様がお話ししやすい環境を設定しています。また、改善方法なども含め迅速かつ適切に対応させていただいております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	66.7%	0.0%	33.3%	現在は行っていませんが、今後のプログラムとして検討してまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	0.0%	33.3%	66.7%	それぞれのお子様に応じたプログラムを提供させていただいておりますので、活動内容などの公開はございませんが、今後イベントなどを開催する場合は、公開させていただきます。
14 個人情報に十分注意しているか	66.7%	0.0%	33.3%	個人情報に記載された書類は常時鍵付き書庫へ保管を徹底する、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等の対応を行っておりますが、情報の取扱方法についてご不明な点、ご懸念点などある場合は遠慮なくお申し出ください。	
非常時 等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	0.0%	100.0%	0.0%	職員の訓練は定期的に行っておりますが、限られた指導時間の中では実施が難しいことからお子様親御様も含めての訓練につきましては、行っていません。非常災害の際もご安心いただけるよう、情報提供など努めてまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0.0%	100.0%	0.0%	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%	0.0%	0.0%	
	18 事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	能力を高めるためのトレーニングは、必ずしも楽しいものばかりではありませんが、楽しみにしていただけるよう、工夫を重ねてまいります。

事業運営に関する自己評価

評価実施日: 2019年2月10日

事業所名:

プレイン 十三センター

サービス形態:

児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			<input type="radio"/>
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		<input type="radio"/>	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			<input type="radio"/>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			<input type="radio"/>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			<input type="radio"/>
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

事業運営に関する利用者様の評価

回答期間:

事業所名:

ブレイン 十三センター

サービス形態:

児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらでもない いいえ	いいえ	改善策について	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている					
	2	職員	2019年2月10日現在で、児童発達支援のご利用はございません。				
	3	生活に対応している					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある					
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている					
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている					
19	個人情報の取扱いに十分注意されている						
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている					
	23	事業所の支援に満足している					